※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　工業科（都市住宅系　インフラ専科）

教科	工業	科目	（学）社会基盤工学基礎	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	社会基盤工学（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

上下水道・公園などの生活関連施設，道路・鉄道などの交通施設、発電・送電所などのエネルギー施設、ダム・堤防などの国土保全施設は、われわれの生活や産業にとってなくてはならない施設です。これらを社会基盤施設といい、多くのものが土木事業によってつくられています。
社会基盤がどのように整備されてきたか、安全で暮らしやすいまちづくりのためにどう整備・維持していくか、それを学ぶのが社会基盤工学です。私たちの生活と密着した諸問題であり、今、社会で何が起こっているのか、何が求められているのかを常に意識する必要があります。これらに関する情報を新聞やテレビ等からも収集するよう心掛けましょう。

2　学習の到達目標

・社会基盤施設全般に関する基礎的な知識を習得する。
・自然環境との調和を図る社会基盤施設の基本的な考え方を理解する。
・社会基盤施設の現代社会とのかかわりや未来社会を見据えたあり方について理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	環境や景観に配慮しながら、適切な社会基盤の整備・維持を計画し、安全で経済的な方法で進める知識を身に付けている。また、社会基盤がわれわれの生活や産業にとって必要不可欠であることを理解し、これらの関連する技術を身につけている。	安全で暮らしやすいまちづくりのために、社会基盤をどのように整備・維持していくかを、総合的に思考・判断し、望ましいあり方を的確に表現できる能力を身につけている。	土木技術の発展にともなう社会基盤の整備や維持について興味・関心をもっている。また、社会基盤の意義や役割を理解し、主体的に学習に取り組もうとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	くらしと社会基盤	社会基盤整備と土木事業 土木技術の歴史	a:社会基盤施設の概要と土木技術の歴史について基本的な理解ができている。 b:社会基盤施設とその歴史について総合的に思考できている。 c:社会基盤施設や土木技術の歴史に関心をもち、理解しようとしている。	定期考査 演習課題 小テスト	定期考査 演習課題 小テスト	課題提出 振返りシート
	交通・運輸	交通施設の概要 道路 鉄道 港湾 空港	a:交通施設の概要について基本的な理解ができている。 b:各種交通施設の果たすべき役割について述べることができる。 c:各種交通施設について理解しようとする態度を身に付けている。	定期考査 演習課題 小テスト	定期考査 演習課題 小テスト	課題提出 振返りシート
2学期	水資源	水資源の概要 利水 治水 上水施設と下水施設	a:利水や治水の施設について基本的な理解ができている。 b:利水や治水の果たすべき役割について述べることができる。 c:利水や治水について関心をもち、理解しようとしている。	定期考査 演習課題 小テスト	定期考査 演習課題 小テスト	課題提出 振返りシート
	都市計画	都市の整備 都市計画の実施 都市と環境	a:都市計画や環境問題について基本的な理解ができている。 b:都市計画や環境問題について総合的に思考できている。 c:都市計画や環境問題について理解しようとする態度を身に付けている。	定期考査 演習課題 小テスト	定期考査 演習課題 小テスト	課題提出 振返りシート
3学期	循環型社会	都市の再生 都市とエネルギー 循環型社会の形成	a:エネルギーや循環型社会について基本的な理解ができている。 b:エネルギーや循環型社会の在り方について思考できている。 c:都市再生やエネルギー、循環型社会について関心をもち、理解しようとしている。	定期考査 演習課題 小テスト	定期考査 演習課題 小テスト	課題提出 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度